



SDG s への取組

5月の誕生会の時に、子ども達に「もったいないばあさん」シリーズの絵本を読み聞かせしました。もったいないことをしていると...。「もったいなーい」と言って、もったいないばあさんがやってきます。もったいないばあさんは、食べ残しも茶碗に残った米粒も一つ残らず平らげました。というような内容です。

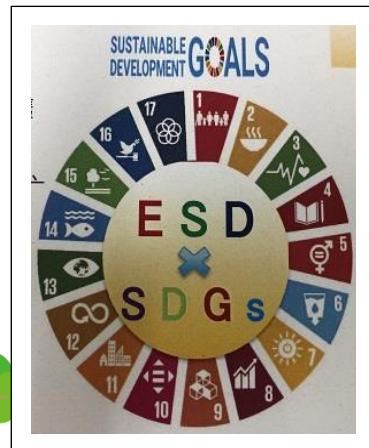


今年度、熊本市の公立幼稚園6園が「ESDの研究モデル園」の指定を受けました。ESDとは、(持続可能な開発のための教育：Education for Sustainable Development)の略です。最近、SDG sという言葉がテレビのコマーシャルなどでもよく耳にしませんか。SDG s (持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し2030年を期限とする包括的な17の目標及び169のターゲットにより構成されています。ESDは、このうち、目標4「すべての人に質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を促進する」のターゲット4, 7に位置づけられました。つまり、ESDは持続可能な社会の創り手を育てる教育です。

ちょっと難しい言葉を並べましたが、このままでは地球がもたないのです。子ども達が生きていく未来は経済も大切ですが、環境をないがしろにすれば、人間

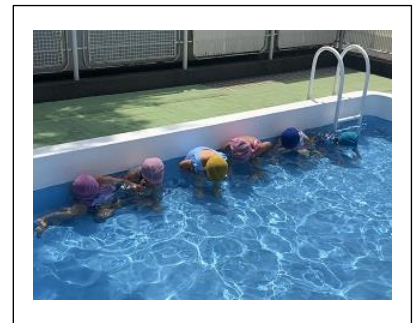
に必ず悪影響が及びます。「じぶんさえよければいい」ではなく、私たち人類と地球を守るために達成しなければならない、そのための活動です。

子ども達にまずは、もったいないばあさんを紹介し、自分たちの身の回りに目を向けることから始めています。私たちの生活の中にも、「もったいなーい」と思うことが沢山あります。当たり前前の生活が、それが本当は当たり前前ではないのかもしれない。これから、園の中にもSDG sの17の目標を貼っていきますので、是非見つけてください。



プール遊び

水の中から空を見上げると、きらきらと太陽の光が差し込み、その光が水の波と屈折して何とも言えない綺麗な輝きをしているのを見たくて小さい頃よく水の中に潜っていました。時々失敗して鼻に水が入るとツーンと強烈な痛みが鼻の奥に感じることもありましたが、懲りずに何度も何度もしていたような記憶があります。以前は小学校のプール開放や城内プールによく行っていました。



去年は、プールでの水遊びが出来なかったので子ども達の実態がよくわかりませんでした。今年は梅雨とはいえ暑い日が続いていますので大きなプールで遊んでいます。プールには入りたいけど、最初は水に顔を付けることが怖い子ども達でした。顔を洗ったり、髪の毛を洗うときに上からシャワーやお湯をかけてシャンプーを流したり、お風呂で顔を付けていくつ数えることができるかしていると自然に数の数え方まで習得していくものです。何回かのプール遊びでずいぶん水に対する恐怖心が薄れてきています。ご家庭でも洗面器で顔をじゃぶじゃぶ洗ったり、髪を洗うときに上からジャバーとかけていただく機会を増やしていただけるとありがたいです。小学校に進学したら、大きな深いプールに入りますので、それまでには潜ったり浮かんだりできると、水泳にスムーズにつながることができ、水泳の授業が楽しみになると思います。幼稚園でも回数は少ないですが、沢山の経験を積み重ねたいと思います。